

表 1. 調査対象明確化のための F A X 送信票様式

送付先	
発信元	厚生省特定疾患に関する疫学研究班特定疾患治療研究医療受給者事務局 (埼玉医科大学公衆衛生学教室) 淵上博司、永井正規 TEL:0492(76)1171 FAX:0492(95)9307
送信枚数	A 4 : (本用紙を含めて) 3 枚

平素より大変お世話になっております。

このたびの特定疾患治療研究医療受給者調査の実施に際しまして、ご多忙にもかかわらずご協力賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

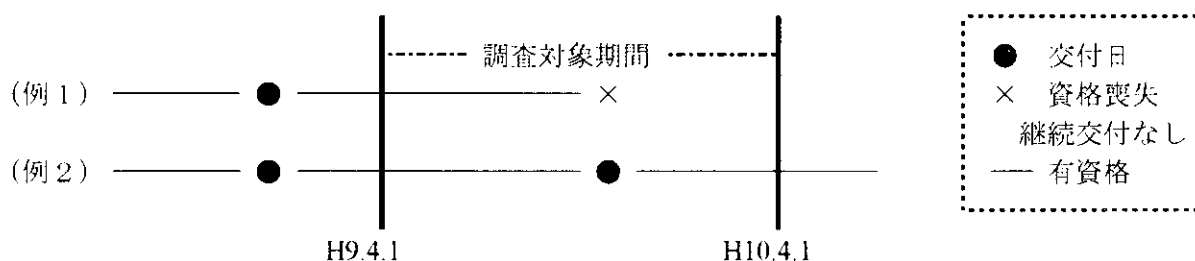
過日お送りいただきました集計結果は現在内容を確認しておりますが、作業の過程で再度ご連絡させていただくこともあるかと存じます。その際は、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、本調査の対象につきまして数箇所から問い合わせを頂きましたので、その主旨を下記に説明させていただきます。実際行っていただきました作業の状況をお知らせ頂きたく、宜しくお願い申し上げます。また、今後の集計作業を円滑に行うために、これに関連して参考値として平成9年度末現在の交付件数(厚生省報告数)につきましても併せてご教示頂ければと考えております。

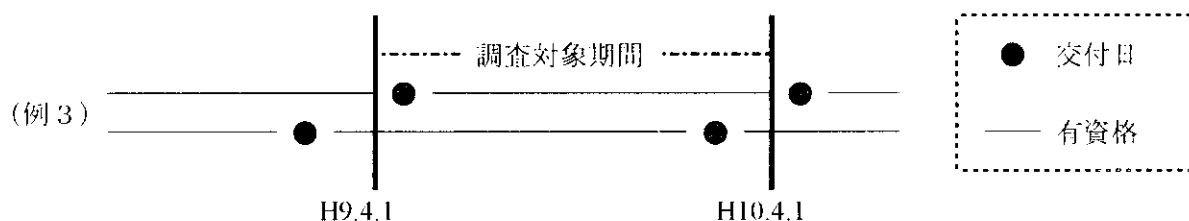
ご多忙の折誠に申し訳ありませんが、別添の F A X 送信票(返信用)の該当箇所をご記入の上、早急にファクシミリにてご返送頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

(調査対象に関して)

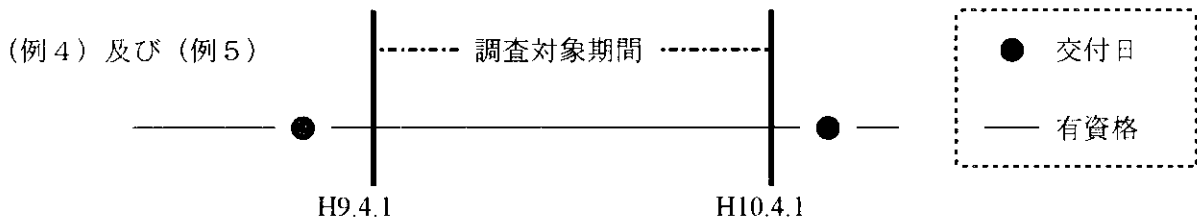
実施要領に記載のとおり、今回の調査は「平成9年4月1日より平成10年3月31日までの1年間に、特定疾患医療受給者証を新規交付あるいは継続交付された受給者全員」を対象として行っております。このため、平成8年度に受給者証を交付されていても、平成9年度中に資格が喪失した方、継続交付しなかった方は対象となりません(例1)。年度内に継続した場合に対象となります(例2)。



特に8年度末に期限が切れる継続受給者に関しては、平成9年度に有効となる受給者証の交付を年度末を境にして、①前もって平成8年度中に交付する。②平成9年度早々に交付する。等、各都道府県の事務処理の都合で異なる状況にあると思われます。しかし、毎年同時期にこのような手続きが行われているのであれば、この期間内の交付件数を数えることで、受給者が把握できます(例3)。



しかしながら、事務処理の関係で、受給者証の交付がたまたま年度を境にして異なった時期に行われてしまった場合は注意していただく必要があります（例4：平成9年度の有資格に関しては平成8年度に受給者証を交付し、さらに平成10年度の有資格に関しては平成10年度早々に交付した場合）。また、受給者証の有効期間を常に12か月以上に行っている場合も、同様の意味合いから注意が必要になります（例5：受給者証の有効期間を12か月以上としたため、有資格でありながら平成9年度に継続交付を受ける必要が生じない場合：この場合の図は例3と類似のものとなります）。このような例については、年度内に交付されてはいませんが、特異な例として調査対象に加えていただきたいと考えております。



そこで、今回ご協力いただいた調査について、(例4) 及び (例5) の事例があったかどうか、また、このような継続例を調査に加えていただいたかどうかをお知らせ下さい。これらを加えていただいた場合、特定疾患医療受給者調査総括表（本調査における様式2）の受給者証交付件数の合計は、厚生省にご報告いただいた平成9年度末現在の交付件数に近い数になると考えられます。確認のため、これもお知らせ下さい。

ご多忙中誠に申し訳ありませんが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

――未回答箇所に対して――

そこで、今回ご協力いただいた調査について、(例4) 及び (例5) のような事例の有無をご確認いただき、これらの症例を漏れなく連名簿に加えていただきますようお願い申し上げます。

このようにして頂いた場合、特定疾患医療受給者調査総括表（本調査における様式2）の受給者証交付件数の合計は、厚生省にご報告いただいた平成9年度末現在の交付件数に近い数になると考えられます。確認のため、この値もお知らせ下さいますようお願いいたします。

ご多忙中誠に申し訳ありませんが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

表 2. 調査対象明確化のための F A X 送信票 (返信用) 様式

あて先	FAX 0492(95)9307 埼玉医科大学公衆衛生学教室 厚生省特定疾患に関する疫学研究班 特定疾患治療研究医療受給者事務局 瀧上博司 宛
件 名	特定疾患治療研究医療受給者調査に関する確認事項 (回答)
枚 数	A 4 1 枚 (本用紙を含む)
発信者	
通信欄	<p>I 貴所における平成 9 年度の事務処理では、(例 4) または (例 5) の事例がありましたか。該当箇所を○で囲んで下さい。</p> <p>(1) ある。</p> <p>(1) をお選びいただいた場合、お答え下さい。</p> <p>これらの症例を本調査の対象に含めましたか。</p> <p>(ア) 含めた。</p> <p>(イ) 含めなかった。</p> <p>(2) ない。</p> <p>II 平成 9 年度末現在の交付件数 (厚生省報告数) をご記入下さい。</p> <p>()</p> <p>ご協力、ありがとうございました。なお、I で(1)-(イ)とご回答いただいた場合には、再度ご連絡をさせていただきますので宜しくお願いいたします。</p>

---未回答箇所に対して-----

平成 1 0 年 1 0 月 日

あて先	FAX 0492(95)9307 埼玉医科大学公衆衛生学教室 厚生省特定疾患に関する疫学研究班 特定疾患治療研究医療受給者事務局 瀧上博司 宛
件 名	特定疾患治療研究医療受給者調査に関する確認事項 (回答)
枚 数	A 4 1 枚 (本用紙を含む)
発信者	
通信欄	<p>I 平成 9 年度末現在の交付件数 (厚生省報告数) をご記入下さい。</p> <p>()</p> <p>II 調査票をご郵送いただく目安の時期をご記入下さい。</p> <p>()</p> <p>ご協力、ありがとうございました。引き続き、本調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>

表3. データの提出様式、および調査対象者に対するFAXの回答

	1997年度 受給者数	データの提出様式	10/19送信FAXの回答	
			交付手続きによる調 査対象者の問題	厚生省への報告 H9年度末現在
全 国	399,719			393,890
1 北海道	23,371	台帳コピー・調査票(医療機関)		25,248
2 青森	4,099	調査票		4,509
3 岩手	4,441	ivy-system(csv)	ある(-)	4,309
4 宮城	6,936	ivy-system(csv)		6,947
5 秋田	3,797	ivy-system(csv)	ある(-)	3,706
6 山形	3,537	ivy-system(csv)	ある(-)	3,791
7 福島	7,065	xls		7,065
8 茨城	7,224	csv		7,226
9 栃木	6,996	txt	ある(+)	6,665
10 群馬	7,219	wk4	ある(-)	7,157
11 埼玉	18,314	ivy-system(csv)		-
12 千葉	17,263	txt	ない	17,277
13 東京	34,630	txt		-
14 神奈川	26,961	xls	ある(+)	24,853
15 新潟	9,639	csv	ない	9,639
16 富山	4,488	csv	ある(-)	4,461
17 石川	4,215	ivy-system(csv)		-
18 福井	2,316	xls	ある(+)	2,315
19 山梨	2,127	xls	ない	2,063
20 長野	6,560	xls		-
21 岐阜	4,528	xls	ない	4,986
22 静岡	12,190	txt		12,411
23 愛知	17,348	txt	ある(+)	16,752
24 三重	6,589	xls	ない	-
25 滋賀	3,921	ivy-system(csv)	ある(+)	-
26 京都	8,678	txt・追加分台帳コピー	ある(-)	8,723
27 大阪	29,835	台帳コピー		28,722
28 兵庫	16,236	csv	ある(+)	15,954
29 奈良	4,055	ivy-system(csv)		4,443
30 和歌山	3,254	csv 桐		3,286
31 鳥取	2,280	ivy-system(csv)	ない	2,279
32 島根	3,067	調査票	ない	3,050
33 岡山	7,971	ivy-system(csv)		7,997
34 広島	8,395	ivy-system(csv)	ない	8,310
35 山口	5,426	txt		-
36 徳島	3,190	調査票		3,138
37 香川	3,630	ivy-system(csv)	ある(+)	3,584
38 愛媛	5,328	xls	ない	5,328
39 高知	3,538	ivy-system(csv)	ある(+)	3,384
40 福岡	15,466	wk4		-
41 佐賀	2,614	xls	ある(+)	2,614
42 長崎	6,067	xls		6,331
43 熊本	6,719	csv		6,641
44 大分	4,436	csv		4,269
45 宮崎	4,101	ivy-system(csv)		-
46 鹿児島	6,326	txt	ない	-
47 沖縄	3,333	xls		3,334

交付手続きによる調査対象者の問題

ある(+): 年度内に交付されていない例も本調査の対象者に含めた。

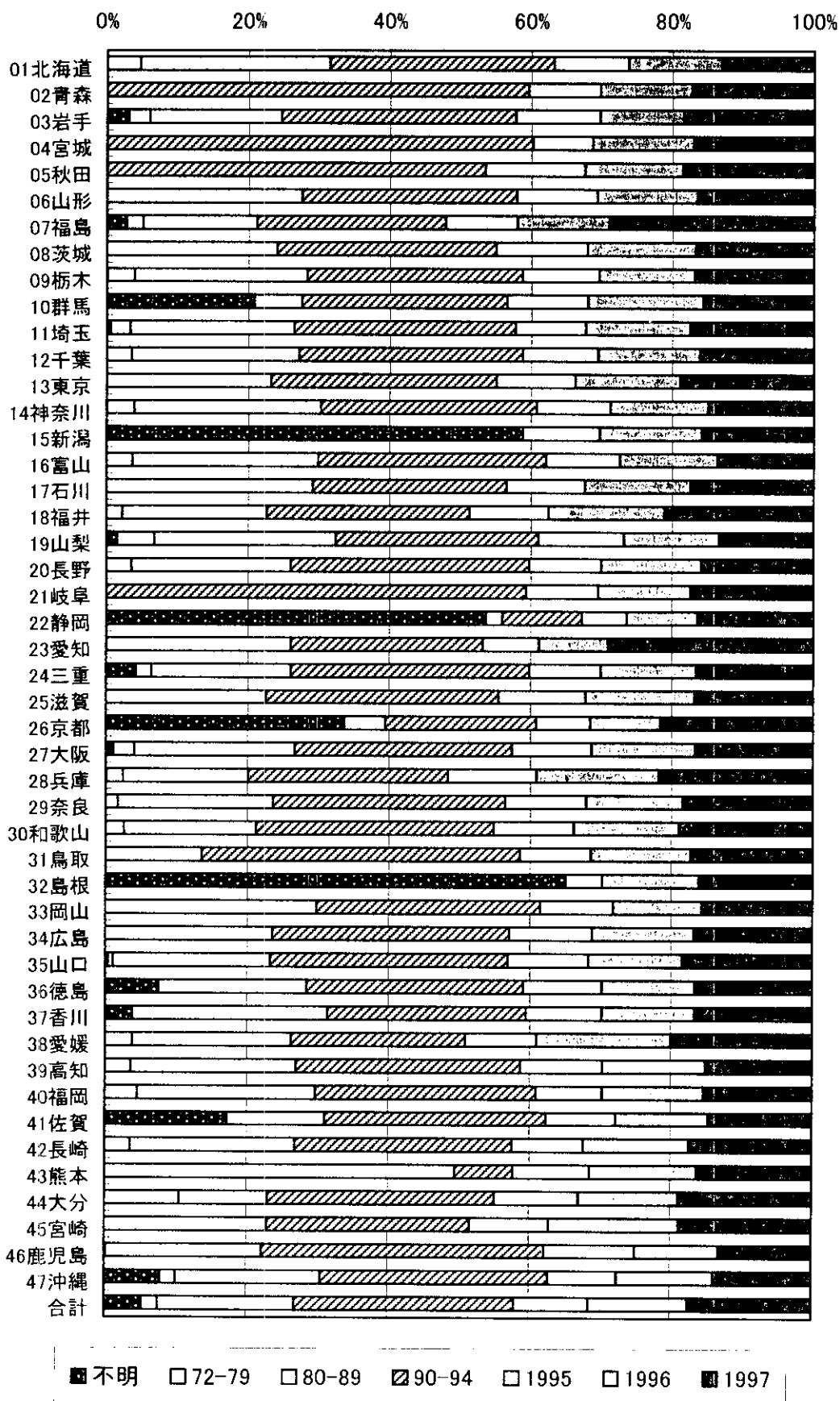
ある(-): 年度内に交付されていない例は本調査の対象者に含めなかった。

表4. 調査項目別情報,都道府県別 (%はデータの欠損値割合を示す。空欄は欠損値なし。)

	1997年度 受給者数	給付開 始年度	受給者 番号	性別	生年 月日	住居地市 区町村	医療保険の種類	入院 通院	受診医療 機関	診療科	
1 北海道	23,371					文字	0%	2%	0%	32%	
2 青森	4,099							70%		100%	
3 岩手	4,441								独自	独自 100%	
4 宮城	6,936						老人の区分なし		独自	独自 28%	
5 秋田	3,797								独自	独自 21%	
6 山形	3,537								独自	独自 46%	
7 福島	7,065	3%					老人なし 0%	14%	独自	独自 12%	
8 茨城	7,224									100%	
9 栃木	6,996	0%						100%	独自	100%	
10 群馬	7,219	21%						100%	独自 0%	100%	
11 埼玉	18,314	1%							独自 0%	100%	
12 千葉	17,263				西暦	独自	独自	100%	独自	文字 82%	
13 東京	34,630				西暦			100%	独自 8%	100%	
14 神奈川	26,961	0%						100%	独自 1%	100%	
15 新潟	9,639	59%							独自 0%	独自 98%	
16 富山	4,488	0%				独自	独自	100%	独自	100%	
17 石川	4,215								独自 0%	独自 64%	
18 福井	2,316					独自	独自	47%	独自	0%	
19 山梨	2,127	2%						3%	1%	11%	
20 長野	6,560	0%						0%	22%	31%	
21 岐阜	4,528							10%		100%	
22 静岡	12,190	54%						1%	86%	独自 1%	85%
23 愛知	17,348								独自 0%		
24 三重	6,589	4%						15%	独自 0%	27%	
25 滋賀	3,921								独自 0%	独自 42%	
26 京都	8,678	34%				独自	老人なし 15%	100%	独自 1%	100%	
27 大阪	29,835	1%				独自	老人の区分なし	100%	87%	100%	
28 兵庫	16,236	0%						0%	100%	独自 0%	100%
29 奈良	4,055								独自 0%	独自 73%	
30 和歌山	3,254								独自		
31 鳥取	2,280								独自	独自 72%	
32 島根	3,067	65%						0%	22%	56%	
33 岡山	7,971								独自 0%	100%	
34 広島	8,395							0%		独自 86%	
35 山口	5,426	0%							老人なし 58%	9%	100%
36 徳島	3,190	8%						100%		100%	
37 香川	3,630	4%							独自	独自 35%	
38 愛媛	5,328								独自	0%	
39 高知	3,538								独自	独自 100%	
40 福岡	15,466						老人の区分なし		独自 2%	文字 12%	
41 佐賀	2,614	17%							独自		
42 長崎	6,067								独自	11%	
43 熊本	6,719								独自	88%	
44 大分	4,436					独自		100%	文字 0%	100%	
45 宮崎	4,101								独自	独自 99%	
46 鹿児島	6,326	0%						100%	独自 0%	100%	
47 沖縄	3,333	8%						100%	退職の区分なし	100%	
全 国	399,719	5.2%						1.2%	46.5%	7.4%	67.6%

独自：都道府県独自のコードで入力されていたもの
 文字：漢字などの文字として入力されていたもの

図1. 1997年度受給者の給付開始年度



医療受給者の経年変化

— リンケージデータを用いた集計 —

渕上 博司、仁科 基子、太田 晶子、柴崎 智美、
永井 正規（埼玉医科大学・公衆衛生学）、
川村 孝（京都大学・保健管理センター）、
大野 良之（名古屋大学医学部・予防医学教室）

要 約

特定疾患に関する疫学研究班はこれまでに4回の医療受給者全国調査を実施してきたが、医療受給者の経年変化を見るために、4回の全国調査データを個人単位でリンケージした。受給者の継続状況を観察すると、4年以内で受給を止める患者が25%、4～5年後まで継続して受給する患者が70%、さらに残りの5%は4年以内に受給を一旦止めるが数年後に再開する者であり、8～9年後まで継続して受給する患者は55%、10年以上継続して受給する患者は40%存在すると考えられた。受給者の過去の受給状況の観察からは、4～5年以上前に受給していた患者が40～50%、8～9年以上前に受給していた患者が25%、13年前に受給していた患者が10%は存在すると考えられた。また新規受給者について見ると、この中の3%程度は4～5年前に受給していたが一旦受給を中止したために新規受給者として扱われた患者であること、8～9年前まで遡るとこの割合は5%程度に増加することがわかった。

キーワード：特定疾患、全国調査、医療受給者、リンケージデータ

目 的

厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班（現特定疾患の疫学に関する研究班）は、1984年度、1988年度、1992年度、1997年度における特定疾患医療受給者の悉皆調査を行い、受給者の実態及び受療動向について報告した¹⁾²⁾。これらは、受給者のさまざまな特性を全国的な規模で把握するものとして、疫学的かつ行政的に重要な資料を提供してきた。一方、受給者を継続的に観察して、その動態を把握することは、疾患の予防、治療研究等の発展に役立つだけでなく、今後の医療対策の課題を明確にする上でも重要である。このため、1984年度、1988

年度、1992年度、1997年度の特定疾患医療受給者全国調査で得られた資料を用いて医療受給者を個人単位にリンケージし、最長13年間の医療受給者の経年変化を観察した。

方 法

1. 資料

医療受給者全国調査の調査対象者は、各調査年度における医療受給者全員であり、調査項目は疾病名、受給者番号、性、生年月日、居住地市町村、医療保険の種類などである。各年度の受給者数は84年度の104,771人から、88年度は173,637人、92年度は247,726人、97年度には399,719人（84年度の3.8倍）に達している。

2. リンケージ方法

医療受給者全国調査の中には氏名や詳しい住所は含まれていない。また、受給者番号も年度で変更されている都道府県があるため、各年度の受給者を厳密にリンケージすることはできない。ここでは、疾患ごとに、各年度間で①性、生年月日と居住地都道府県が一致した場合に同一者とみなす、②受給者番号と居住地市町村が年度間で一致した場合は、性、生年月日の年号、年、月と日の5つの中で4つが一致すれば同一者とみなす、とする方法で個人単位のリンケージ³⁾を行った。

3. 解析方法

医療受給者証の交付手続きは、これまで原則として単年度ごとに行われてきた。受給者によっては医療受給の中止・開始が繰り返される可能性がある。したがって、全国調査を実施した4年間隔あるいは5年間隔の受給状況だけで厳密には受給の継続（中止・再開）状況を定めることはできないが、以下に示す2つの視点で継続状況を示した。

(1) 受給者の継続状況

84年度、88年度、92年度の各調査年度に観察された受給者が、それ以降に実施された全国調査の時点でも受給しているか否かで継続状況を区分した。継続状況の区分は次のとおりである（表3参照）。84年度受給者については、84年度以降に実施された全ての調査で受給していた者（13年継続：84889297と示す。以下同様）、88年度と92年度は受給していたが97年度は非受給であった者（8年継続：848892×）、88年度は受給していたが以後非受給であった者（4年継続：8488××）、88年度以降何れの年度も非受給であった者（継続なし：84×××）、一度受給を中止したが再び受給を開始した者の計5区分で示した。同様に88年度受給者は、9年継続（889297）、4年継続（8892×）、継続なし（88××）、中止後再開（88×97）の4区分、92年度受給者は、5年継続（9297）、継続なし（92×）の2区分でそれぞれ示した。

なお、集計時の年齢は、継続状況の起点となる調査年度の年齢を用いた。

また、前記の区分方法を用いて、例えば84年度受給者については4年間（88年度まで）、8年間（92年度まで）、13年間（97年度まで）の継続率が算出可能である。同様に、88年度受給者は4年間（92年度まで）、9年間（97年度まで）の継続率、92年度受給者は5年間（97年度まで）の継続率が求められる。さらに、その区間における単年ごとの継続率は指数関数的に減少していると仮定し、受給継続率の推計値を単年ごとに算出した（表1）。また、調査年度によるデータのバラツキを考慮して84年度、88年度、92年度受給者から得られた単年ごとの継続率を平均した平均受給継続率も算出した（表2）。

(2) 受給者の過去の受給状況

88年度、92年度、97年度の各調査年度における受給者が過去の調査年度に遡った場合、受給を確認できた最も古い調査年度がいつだったのかを示した。過去の受給状況の区分方法は次のとおりである（表9参照）。97年度の受給者については、最も古い受給年度が84年度であった者（84??97）、最も古い受給年度が88年度であった者（×88?97）、最も古い受給年度が92年度であった者（××9297）、過去に受給していなかった者（×××97）の4区分で示した。同様に、92年度の受給者は、最も古い受給年度が84年度であった者（84?92）、最も古い受給年度が88年度であった者（×8892）、過去に受給していなかった者（××92）の3区分、88年度の受給者は、84年度に受給していた者（8488）、過去に受給していなかった者（×88）の2区分でそれぞれ示した。なお、集計時の年齢は、過去の調査年度に遡る際に起点となった調査年度の年齢を用いた。

以上の(1)(2)の視点から、疾患別、性・年齢階級別、医療保険の種類別、都道府県別受給者の特徴について記述した。

結 果

1. 受給者の継続状況

1984年度に受給した104,771人のうち、13年継続は44,552人(42.5%)、8年継続は12,484人(11.9%)、4年継続は13,892人(13.3%)、継続なしは27,730人(26.5%)、中止後再開は6,113人(5.8%)である(表3)。つまり、「継続なし」を除いたおよそ75%が何らかの形で受給を継続しており、このうち、4年後まで継続する患者がおよそ70%、8年後まで継続する患者がおよそ55%、13年後まで継続する患者がおよそ40%であるとみなされる。88年度、92年度の継続率も類似した状況であり、これらの結果を総合すると、ある年度の受給者を対象としてそれ以後の継続状況を観察すると、4年以内で受給を止める患者がおよそ25%、4~5年後まで継続して受給する患者がおよそ70%、さらに残りの5%は4年以内に受給を一旦止めるが数年後に再び受給を開始する患者である。また、8~9年後まで継続して受給する患者はおよそ55%、10年以上継続して受給する患者はおよそ40%存在すると考えられた。新規受給者についてみると、1984年度の新規受給者35,738人のうち、13年継続は14,394人(40.3%)、8年継続は3,907人(10.9%)、4年継続は4,577人(12.8%)、継続なしは10,590人(29.6%)、中止後再開は2,270人(6.4%)であり、継続して受給する患者の割合は全受給者よりもやや低い。

図1は各調査年度における単年ごとの受給継続率及び平均受給継続率を受給者と新規受給者別に示したものである。継続率は84年度が最も低く、88年度、92年度と年次を追うに従って高くなっている。平均継続率をみると、2年後まで継続する患者はおよそ85%、7年後まで継続する患者はおよそ60%、10~11年後まで継続する患者はおよそ50%である。また継続受給率の推移は最初の4年間での低下に比べて4年以上経過すると緩やかになることがわかる。

新規受給者の継続率は、全受給者とは異なり88年度が最も低く、84年度、92年度の順に高くなっている。継続率は最初の4年では年次が進むに従って全受給者よりも低くなり、4年以上経過すると全受給者よりも7~8%程度低値のまま推移している。

(1) 疾患別

表4は、84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況を疾患別に示したものである。84年度受給者で97年度の調査時点まで(13年間)の継続状況が観察できるのは、84年に給付対象であった1.ベーチェット病(1972年4月1日に給付対象)から26.特発性拡張型心筋症(1985年1月1日に受給対象)までである。同様に、88年度受給者については、1.ベーチェット病から30.広範脊柱管狭窄症(1989年1月1日に給付対象)まで、92年度受給者については、1.ベーチェット病から34.混合性結合組織病(1993年1月1日に給付対象)までが観察可能である。

ベーチェット病、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、スモン、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、クローン病、ウイルス動脈輪閉塞症では比較的継続率が高い。これに対して、筋萎縮性側索硬化症、劇症肝炎、パーキンソン病、アミロイドーシス、ハンチントン舞踏病は継続率の低い疾患とみなされる。表としては示さないが、これら継続率の低い疾患の受給継続率を単年ごとにみると、パーキンソン病とハンチントン舞踏病は、年次を追うに従ってほぼ一定で受給継続率が低下しているのに対し、筋萎縮性側索硬化症、劇症肝炎、アミロイドーシスでは継続年数2~3年での受給継続率の低下が大きい。特に劇症肝炎の受給継続率の低下は急激であり、継続年数が3年の時点で受給継続率が0.30を下回っている。また、88年度調査以降で給付対象となった疾患は観察期間が最長9年と短い。また、膿疱性乾癬、混合性結合組織病は受給継続率が比較的高く、シャイ・ドレーガー症候群、重症急性膵炎は受給継続率が比較的低い。

表5は、84年度、88年度、92年度の各調査時点における新規受給者の継続状況を疾患別に示したものである。受給継続率の高低を疾患別にみると、全受給者でみた状況と類似しているが、受給継続率の値は全受給者よりも新規受給者の方がやや低い。

(2)性・年齢階級別

表6は、84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況を性・年齢階級別に示したものである。性別に84年度受給者の継続状況をみると、男では継続なしは32.6%、4年以上継続は61.6%、8年以上継続は46.4%、13年継続は34.2%、女では継続なしは23.6%、4年以上継続は70.5%、8年以上継続は58.2%、13年継続は46.4%であり、継続受給者の割合は男よりも女の方が高い。この傾向は88年度、92年度受給者についても同様である。これは、前記の継続率の高い疾患のうち、全身性エリテマトーデス、スモン、大動脈炎症候群、混合性結合組織病の受給者が女に多く、継続率の低い疾患のうち筋萎縮性側索硬化症、シャイ・ドレーガー症候群、重症急性膵炎の受給者が男に多いことを反映した結果と考えられる。

年齢階級別にみると、男で4~5年以上継続する患者の割合は、0~4歳でおおよそ35%であるが、年齢が高くなるに従ってこの割合も高くなり、30~59歳でおおよそ70%で最大となる。60歳以上では継続する患者の割合は年齢が高くなるに従って低下する。女も男と同様であるが、4年以上継続する者の割合は男の30~59歳よりもやや高くおおよそ80%である。

(3)医療保険の種類別

表7は、84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況を医療保険の種類別に示したものである。4~5年継続している受給者の割合は、健康保険本人、健康保険家族、国民健康保険、退職者医療のいずれもおおよそ70%程度であるが、老人保健法に基づく医療ではおおよそ50%であり他の医療保険に比べて低い。

(4)都道府県別

表8は、84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況を都道府県別に示したものである。都道府県別継続受給者の割合は調査年度で異なっており、この割合の地域差は明らかでない。

2. 受給者の過去の受給状況

97年度の受給者399,719人のうち、受給を確認できた最も古い年度が84年度であったのは49,532人(12.4%)、88年度は52,134人(13.0%)、92年度は75,635人(18.9%)、過去の受給なしが222,418人(55.6%)である。同様に、92年度の受給者247,726人のうち、84年度に受給を確認できたのは60,616人(24.5%)、88年度は67,904人(27.4%)、過去の受給なしは119,206人(48.1%)、88年度の受給者173,637人のうち、84年度に受給を確認できたのは72,375人(41.7%)、過去の受給なしは101,262人(58.3%)である(表9)。これらの結果から、ある年度の受給者を対象として過去の受給状況を観察すると、4~5年以上前に受給したことのある患者がおおよそ40~50%、8~9年以上前に受給したことのある患者がおおよそ25%、13年前に受給したことのある患者がおおよそ10%は存在するものとみなされる。また、新規受給者についてみると、97年度の新規受給者70,065人のうち、受給を確認できた最も古い年度が84年度であったのは891人(1.3%)、88年度は1,014人(1.4%)、92年度は1,157人(1.7%)、過去の受給なしが67,003人(95.6%)である。同様に、92年度の新規受給者41,230人のうち、84年度に受給を確認できたのは1,175人(2.8%)、88年度は1,145人(2.8%)、過去の受給なしが38,910人(94.4%)、88年度の新規受給者32,221人のうち、84年度に受給を確認できたのは938人(2.9%)、過去の受給なしは31,283人(97.1%)である。すなわち、新規受給者であっても、この中の3%程度は4~5年前に受給していて一旦受給を

中止して再開した患者であること、8～9年前まで遡ると5%程度は再開者であること、13年前まで遡っても再開者の割合はおよそ5%で、8～9年前の時点で観察される再開者と大きく異なることがわかる。

(1) 疾患別

表10は、97年度、92年度、88年度受給者の過去の各調査年度における受給状況を疾患別に示したものである。97年度受給者についてみると、過去に受給したことがある患者が全体の60%以上を占める疾患はベーチェット病、全身性エリテマトーデス、スモン、大動脈炎症候群、ピュルガー病、表皮水疱症の6疾患である。92年度、88年度受給者についてもこれらの疾患では過去に受給したことがある患者の割合が比較的高く、同一患者が長く受給者として関わっている状況にあることがわかる。特に、スモンは97年度受給者では過去に受給したことがある患者のおよそ80%が13年前にも受給しており、受給者として関わる期間が極めて長い疾患といえる。これに対して、97年度受給者の中で、過去に受給したことがある患者の割合が全体の30%未満の疾患は、筋萎縮性側索硬化症、劇症肝炎、アミロイドーシス、特発性拡張型心筋症、シャイ・ドレーガー症候群、広範脊柱管狭窄症、原発性胆汁性肝硬変、重症急性膵炎、特発性大腿骨頭壊死症、混合性結合組織病の10疾患である。このうち、特発性拡張型心筋症以後に記した疾患は給付対象となったのが1985年1月以降であり、観察期間が短いことによって受給歴のある患者が少ないことも考えられる。筋萎縮性側索硬化症、劇症肝炎、アミロイドーシスの3疾患については、92年度、88年度受給者でも過去に受給歴のある患者の割合が低く、受給対象者の入れ替わりが激しい疾患であると考えられる。

表11は、新規受給者について示したものである。97年度の新規受給者についてみると、過去に受給したことがある患者が全体の5%以上を占める疾患は、ベーチェット病、全身性エリテ

マトーデス、スモン、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、ピュルガー病、悪性関節リウマチ、パーキンソン病、表皮水疱症の9疾患である。これらの疾患では92年度、88年度受給者についても受給歴のある患者の割合が比較的高いことから、給付を一旦中止しても再開する患者が比較的多く、病状の緩解、増悪を繰り返す疾患であると考えられる。これに対して、過去に受給したことのある患者の割合が1%未満の疾患は、劇症肝炎、アミロイドーシス、重症急性膵炎、特発性大腿骨頭壊死症、混合性結合組織病の5疾患である。劇症肝炎、アミロイドーシスの2疾患については92年度、88年度受給者についても受給歴のある患者の割合が低く、この2疾患は一度給付を受けると、受給を中止するのは治癒か緩解、死亡の何れかであるといえる。また、重症急性膵炎以後に記した疾患は予後に関する特徴だけでなく、観察期間が短いことによって受給歴のある患者の割合が少ないことも考えられ、今後も継続した観察が必要である。

(2) 性・年齢階級別

表12は、97年度、92年度、88年度受給者の過去の各調査年度における受給状況を性・年齢階級別に示したものである。97年度受給者についてみると、過去に受給したことがある患者の割合は男女とも10～14歳、30～40歳代、70～74歳で比較的高い。この割合を性別に比較すると、15歳未満では男女でほぼ等しいが、年齢が高くなるに従って女の割合が高くなり、最大値は男が35～39歳の44.0%であるのに対し、女は45～49歳の54.5%で5割を上回っている。92年度、88年度の受給者でも同様の傾向を認めるが、92年度受給者では過去に受給したことがある患者の割合が最も高い年齢は男女とも70～74歳であり他の年度に比べて高齢である。また、表としては示さないが、97年度新規受給者についてみると、受給歴のある患者の割合が5%を越えているのは男では30～34歳と70歳代、女では25～44歳と65～84歳である。新規受給者に

占める中止後再開者の割合は女が高い。92年度も97年度と同様に受給を一旦中止した後に再受給する者の割合は女が高い。これは、(1)で記したペーチェット病、全身性エリテマトーデス、スモン、大動脈炎症候群、悪性関節リウマチ、パーキンソン病が女に多いためと考えられる。

(3)医療保険の種類別

表13は、97年度、92年度、88年度受給者の過去の各調査年度における受給状況を医療保険の種類別に示したものである。過去に受給したことのある患者の割合は何れの年度も健康保険家族、国民健康保険、退職者医療、老人保健法に比べて健康保険本人は低い。また、老人保健法の受給歴のある患者の割合は、97年度、88年度では健康保険家族、国民健康保険、退職者医療よりやや低い、92年度は全ての保険の中で最も高い。

(4)都道府県別

表14は、97年度、92年度、88年度受給者の過去の各調査年度における受給状況を都道府県別に示したものである。過去に受給したことのある患者の割合は調査年度で異なっており、地域差は明らかでない。しかし、北海道、栃木県、群馬県、山梨県、島根県、徳島県、福岡県、佐賀県の受給歴のある患者の割合は何れの年度も他の都道府県に比べてやや高い。

考 察

過去の調査結果を個人単位でリンクして受給者の経年変化をみることにより、これまでの調査では明らかにならなかった受給者の継続状況を示すことが出来た。また、新規受給者として扱われてきた受給者の中に、中止後再開者が含まれていることも確認された。今回のリンク方法には、受給者が居住地都道府県外へ転出した場合や性、生年月日の入力ミスがある場合にリンクが漏れが生ずるという欠点がある。現在、特定疾患調査解析システムが動き始めているが、個人同定が可

能なAファイルを使用して同一人を特定する作業を行い、この結果を用いてBファイルのリンクを行えば、より正確な継続状況の観察が可能になると考える。

なお、本報告の詳細な集計結果は「特定疾患治療研究医療受給者調査からみた受給者の継続状況 リンクデータを用いた集計」として別に報告した。

文 献

- 1) 柳川洋, 中村好一, 長谷川央子編 : 特定疾患治療研究医療受給者調査報告. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1986.
- 2) 柳川洋, 中村好一, 橋本勉, 他編 : 特定疾患治療研究医療受給者調査報告書(1988年度分)その1. 基本的な集計解析. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1990.
- 3) 柳川洋, 中村好一, 橋本勉, 他編 : 特定疾患治療研究医療受給者調査報告書(1988年度分)その2. 受療動向に関する集計解析. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1991.
- 4) 永井正規, 中村好一, 阿相栄子, 他編 : 特定疾患治療研究医療受給者調査報告書(1992年度分)その1. 基本的集計. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1995.
- 5) 永井正規, 中村好一, 阿相栄子, 他編 : 特定疾患治療研究医療受給者調査報告書(1992年度分)その2. 受療動向に関する集計. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1996.
- 6) 永井正規, 瀧上博司, 仁科基子, 他編 : 特定疾患治療研究医療受給者調査報告書(1997年度分)その1. 基本的集計. 厚生科学研究特定疾患対策研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班, 2000.
- 7) 永井正規, 瀧上博司, 仁科基子, 他編 : 特定疾患治療研究医療受給者調査報告書(1997年度分)その2. 受療動向に関する集計. 厚生科学研究特定疾患対策研究事業 特定疾患

の疫学に関する研究班，2001.
8) 橋本修二，永井正規，中村好一，
他：難病医療費公費負担制度による

医療費受給の開始中止状況．日本公
衛誌，1996；43(11)：974-981.

Chronological analysis of intractable disease patients receiving public financial aid for treatment by individually linked patient data

Fuchigami Hiroshi, Nishina Motoko, Ohta Akiko, Shibazaki Satomi, Nagai Masaki (Department of Public Health, Saitama Medical School), Kawamura Takashi (Kyoto University Center for Student Health), Ohno Yoshiyuki (Department of Preventive Medicine, Nagoya University School of Medicine)

The nationwide surveys of intractable disease patients receiving public financial aid for treatment were performed by the Research Committee of Epidemiology of Intractable Disease (Ministry of Health and Welfare, Japan) 4 times in the past, in 1984, 1988, 1992 and 1997. In order to clarify the features of the continuance of receiving public financial aid for treatment, the data of all patients in each year were individually linked.

According to the observation on each patient's following up, proportion of patients who discontinued financial aid within four years was 25%, that of patients who continued receiving the aid for four or five years was 70% and that of patients who once discontinued financial aid within four years and recommenced receiving it in some years later was 5%. Proportion of patients who continued receiving in eight or nine years late was 55% and that of patients who continued receiving in ten years or more was 40%.

According to the observation on each patient's history of receiving public financial aid, proportion of patients who had received the aid four or five years before was 40 or 50%, that of patients who had received eight or nine years before was 25%, and that of patients who had received thirteen years before was 10%. On the other hand, according to the observation on new patients commencing the aid, we find the fact that nearly three percent of new patients were those who once discontinued financial aid four or five years ago, and that nearly five percent of new patients were those who once discontinued financial aid eight or nine years ago.

key words : Intractable disease, Nationwide survey, Patients receiving financial aid for treatment, linked data

表1 受給継続率の推計方法

各調査年度の受給者数、継続率、継続年数を以下のように示す。

84年度受給者		88年度受給者		92年度受給者	
Z10	84年度受給者数	Z20	88年度受給者数	Z30	92年度受給者数
X11	4年継続率	X21	4年継続率	X31	5年継続率
X12	8年継続率	X22	9年継続率		
X13	13年継続率				
y11	継続年数=4	y21	継続年数=4	y31	継続年数=5
y12	継続年数=8	y22	継続年数=9		
y13	継続年数=13				

各調査年度のデータをリンケージした結果から得られた4(5)年継続率、8(9)年継続率、13年継続率を用いて、年単位の受給継続率を下記に示す方法で推計した。

0年継続率	$P_{10}=1$	$P_{20}=1$	$P_{30}=1$
	$P'_{11}=(X_{11})^{1/y_{11}}$	$P'_{21}=(X_{21})^{1/y_{21}}$	$P'_{31}=(X_{31})^{1/y_{31}}$
1年継続率	$\underline{P_{11}=P_{10} * P'_{11}}$	$\underline{P_{21}=P_{20} * P'_{21}}$	$\underline{P_{31}=P_{30} * P'_{31}}$
2年継続率	$\underline{P_{12}=P_{11} * P'_{11}=P_{10} * P'_{11}^2}$	$\underline{P_{22}=P_{21} * P'_{21}=P_{20} * P'_{21}^2}$	$\underline{P_{32}=P_{31} * P'_{31}=P_{30} * P'_{31}^2}$
3年継続率	$\underline{P_{13}=P_{12} * P'_{11}=P_{10} * P'_{11}^3}$	$\underline{P_{23}=P_{22} * P'_{21}=P_{20} * P'_{21}^3}$	$\underline{P_{33}=P_{32} * P'_{31}=P_{30} * P'_{31}^3}$
4年継続率	$\underline{P_{14}=P_{13} * P'_{11}=P_{10} * P'_{11}^4}$ =X11	$\underline{P_{24}=P_{23} * P'_{21}=P_{20} * P'_{21}^4}$ =X21	$\underline{P_{34}=P_{33} * P'_{31}=P_{30} * P'_{31}^4}$
	$P'_{12}=(X_{12}/X_{11})^{1/(y_{12}-y_{11})}$	$P'_{22}=(X_{22}/X_{21})^{1/(y_{22}-y_{21})}$	
5年継続率	$\underline{P_{15}=P_{14} * P'_{12}}$	$\underline{P_{25}=P_{24} * P'_{22}}$	$P_{35}=P_{34} * P'_{31}=P_{30} * P'_{31}^5$ =X31
6年継続率	$\underline{P_{16}=P_{15} * P'_{12}=P_{14} * P'_{12}^2}$	$\underline{P_{26}=P_{25} * P'_{22}=P_{24} * P'_{22}^2}$	
7年継続率	$\underline{P_{17}=P_{16} * P'_{12}=P_{14} * P'_{12}^3}$	$\underline{P_{27}=P_{26} * P'_{22}=P_{24} * P'_{22}^3}$	
8年継続率	$\underline{P_{18}=P_{17} * P'_{12}=P_{14} * P'_{12}^4}$ =X12	$\underline{P_{28}=P_{27} * P'_{22}=P_{24} * P'_{22}^4}$	
	$P'_{13}=(X_{13}/X_{12})^{1/(y_{13}-y_{12})}$		
9年継続率	$\underline{P_{19}=P_{18} * P'_{13}}$	$P_{29}=P_{28} * P'_{22}=P_{24} * P'_{22}^5=X_{22}$	
10年継続率	$\underline{P_{1a}=P_{19} * P'_{13}=P_{18} * P'_{13}^2}$		
11年継続率	$\underline{P_{1b}=P_{1a} * P'_{13}=P_{18} * P'_{13}^3}$		
12年継続率	$\underline{P_{1c}=P_{1b} * P'_{13}=P_{18} * P'_{13}^4}$		
13年継続率	$\underline{P_{1d}=P_{1c} * P'_{13}=P_{18} * P'_{13}^5=X_{13}}$		

注：下線は継続率の推計値を示す。

表2 平均受給継続率の計算方法

平均受給継続率の計算は、以下の手順で行った。

- a) 各調査年度の継続率から推計した年単位の継続率より年単位の受給者数を推計する。
- b) a) で推計された84、88、92年度受給者数の総和を年単位で求める。
- c) b) で得られた年単位の受給者数の総和から、各調査年度の経年継続率が一樣であったと仮定した場合の平均継続率を算出する。

各調査年度の継続受給者数、継続年数を以下のように示す。

84年度受給者		88年度受給者		92年度受給者	
Z10	84年度受給者数	Z20	88年度受給者数	Z30	92年度受給者数
Z14	4年継続受給者数	Z24	4年継続受給者数	Z35	5年継続受給者数
Z18	8年継続受給者数	Z29	9年継続受給者数		
Z1d	13年継続受給者数				
W1i	i年後受給者数	W2i	i年後受給者数	W3i	i年後受給者数
y11	継続年数=4	y21	継続年数=4	y31	継続年数=5
y12	継続年数=8	y22	継続年数=9		
y13	継続年数=13				

上記のa)～c)の手順に従って、年単位の平均受給継続率を算出した。

	84年度受給者	88年度受給者	92年度受給者	84、88、92年度受給者数の和	平均受給継続率
0年後受給者数	Z10=84年度受給者数 $P'_{11} = (X11)^{1/y11}$	Z20=88年度受給者数 $P'_{21} = (X21)^{1/y21}$	Z30=92年度受給者数 $P'_{31} = (X31)^{1/y31}$	S0=Z10+Z20+Z30	K0=S0/S0
1年後受給者数	W11=Z10 * P' 11	W21=Z20 * P' 21	W31=Z30 * P' 21	S1=W11+W21+W31	K1=K0 * S1/S0
2年後受給者数	W12=W11 * P' 11=Z10 * P' 11 ²	W22=W21 * P' 21=Z20 * P' 21 ²	W32=W31 * P' 31=Z30 * P' 31 ²	S2=W12+W22+W32	K2=K1 * S2/S1
3年後受給者数	W13=W12 * P' 11=Z10 * P' 11 ³	W23=W22 * P' 21=Z20 * P' 21 ³	W33=W32 * P' 31=Z30 * P' 31 ³	S3=W13+W23+W33	K3=K2 * S3/S2
4年後受給者数	W14=W13 * P' 11=Z10 * P' 11 ⁴ =Z14 $P'_{12} = (X12/X11)^{1/(y12-y11)}$	W24=W23 * P' 21=Z20 * P' 21 ⁴ =Z24 $P'_{22} = (X22/X21)^{1/(y22-y21)}$	W34=W33 * P' 31=Z30 * P' 31 ⁴	S4=W14+W24+W34	K4=K3 * S4/S3
5年後受給者数	W15=Z14 * P' 12	W25=Z24 * P' 22	W35=W34 * P' 31=Z30 * P' 31 ⁵ =Z35	S5=W15+W25+Z35 S5'=W15+W25	K5=K4 * S5/S4
6年後受給者数	W16=W15 * P' 12=Z14 * P' 12 ²	W26=W25 * P' 22=Z24 * P' 22 ²		S6=W16+W26	K6=K5 * S6/S5'
7年後受給者数	W17=W16 * P' 12=Z14 * P' 12 ³	W27=W26 * P' 22=Z24 * P' 22 ³		S7=W17+W27	K7=K6 * S7/S6
8年後受給者数	W18=W17 * P' 12=Z14 * P' 12 ⁴ =Z18 $P'_{13} = (X13/X12)^{1/(y13-y12)}$	W28=W27 * P' 22=Z24 * P' 22 ⁴		S8=W18+W28	K8=K7 * S8/S7
9年後受給者数	W19=Z18 * P' 13	W29=W28 * P' 22=Z24 * P' 22 ⁵ =Z29		S9=W19+Z29 S9'=W19	K9=K8 * S9/S8
10年後受給者数	W1a=W19 * P' 13=Z18 * P' 13 ²			S10=W1a	K10=K9 * S10/S9'
11年後受給者数	W1b=W1a * P' 13=Z18 * P' 13 ³			S11=W1b	K11=K10 * S11/S10
12年後受給者数	W1c=W1b * P' 13=Z18 * P' 13 ⁴			S12=W1c	K12=K11 * S12/S11
13年後受給者数	W1d=W1c * P' 13=Z18 * P' 13 ⁵ =Z1d			S13=Z1d	K13=K12 * S13/S12

表3. 84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況

調査年度	84	88	92	97	全受給者数	新規受給者数	* (%)
1984年度受給者							
13年継続	○	?	?	?	104,771	35,738	100%
8年継続	○	○	○	○	44,552	14,394	40.3%
4年継続	○	○	○	×	12,484	3,907	10.9%
継続なし	○	○	×	×	13,892	4,577	12.8%
中止後再開	○	×	×	×	27,730	1,059	3.0%
					6,113	2,270	6.4%
	○	○	×	○	(1,447)	(523)	(1.5%)
	○	×	○	○	(2,447)	(875)	(2.4%)
	○	×	○	×	(1,133)	(429)	(1.2%)
	○	×	×	○	(1,086)	(443)	(1.2%)
1988年度受給者							
9年継続	?	○	?	?	173,637	32,221	100%
4年継続	?	○	○	○	94,217	14,199	44.1%
継続なし	?	○	○	×	30,723	5,780	17.9%
中止後再開	?	○	×	×	44,781	11,394	35.4%
		○	×	○	3,916	848	2.6%
1992年度受給者							
5年継続	?	?	○	?	247,726	41,230	100%
継続なし	?	?	○	○	172,299	24,552	59.5%
	?	?	○	×	75,427	16,678	40.5%

○：受給 ×：非受給 ?：受給または非受給 *新規受給者数/全受給者数×100

表4. 84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況，疾患別

疾患名	1984年度		8年継続		4年継続		継続なし		中止後再開		1988年度		9年継続		4年継続		継続なし		中止後再開		1992年度		5年継続		継続なし	
	受給者数 (100%)	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297	84889297
1 ベーネエツト病	7,949	4,462	(56.1)	778	(9.8)	862	(10.8)	1,432	(18.0)	415	(5.2)	11,102	7,325	(67.8)	1,452	(13.1)	1,917	(17.3)	208	(1.9)	13,417	10,712	(79.8)	2,705	(20.2)	
2 多発性硬化症	1,739	712	(40.9)	216	(12.4)	245	(14.1)	470	(27.0)	96	(5.5)	2,910	1,398	(48.0)	501	(17.2)	739	(25.4)	72	(2.5)	4,185	3,015	(72.0)	1,170	(28.0)	
3 重症筋無力症	4,518	2,211	(48.9)	521	(11.5)	520	(11.5)	1,027	(22.7)	239	(5.3)	6,486	3,982	(61.4)	1,055	(16.4)	1,325	(20.4)	114	(1.8)	8,320	6,276	(75.4)	2,044	(24.6)	
4 全身性エリテマトーデス	18,515	10,871	(58.7)	1,914	(10.3)	1,707	(9.2)	2,977	(16.1)	1,046	(5.6)	27,382	19,292	(70.5)	3,646	(13.3)	3,983	(14.4)	491	(1.8)	35,690	29,002	(81.3)	6,688	(18.7)	
5 スモン	2,219	1,162	(52.4)	248	(11.2)	271	(12.2)	381	(17.2)	157	(7.1)	2,226	1,407	(63.2)	318	(14.3)	409	(18.4)	92	(4.1)	2,012	1,577	(78.4)	435	(21.6)	
6 再生不良性貧血	4,726	1,518	(32.1)	605	(12.8)	892	(17.0)	1,622	(34.3)	179	(3.8)	6,369	2,849	(44.7)	1,310	(20.6)	2,111	(33.1)	99	(1.6)	7,632	4,870	(63.6)	2,762	(36.4)	
7 サルコイドーシス	3,633	1,551	(42.7)	439	(12.1)	474	(13.0)	1,019	(28.0)	150	(4.1)	6,242	3,494	(56.0)	1,107	(17.7)	1,539	(24.7)	102	(1.6)	9,756	6,992	(71.7)	2,764	(28.3)	
8 筋萎縮性側索硬化症	1,536	172	(11.2)	113	(7.4)	210	(13.7)	1,016	(66.1)	25	(1.6)	2,507	452	(18.0)	418	(16.7)	1,610	(64.2)	27	(1.1)	3,094	1,014	(32.8)	2,080	(67.2)	
9 壊血症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	7,483	3,401	(45.4)	1,028	(13.7)	1,006	(13.4)	1,721	(23.0)	337	(4.5)	11,810	6,917	(58.6)	2,124	(18.0)	2,557	(21.7)	212	(1.8)	17,161	12,451	(72.6)	4,710	(27.4)	
10 特発性血小版減少性紫斑病	7,909	2,377	(30.1)	887	(11.2)	1,288	(16.0)	2,996	(37.9)	381	(4.8)	13,585	5,807	(42.7)	2,586	(19.0)	4,967	(36.6)	225	(1.7)	19,594	11,900	(60.7)	7,694	(39.3)	
11 結節性動脈周囲炎	871	241	(27.7)	92	(10.6)	89	(10.2)	421	(48.3)	28	(3.2)	1,080	548	(50.7)	223	(20.6)	290	(26.9)	19	(1.8)	1,551	1,045	(67.4)	506	(32.6)	
12 酒精性大腸炎	9,193	4,476	(48.7)	895	(9.7)	1,030	(11.4)	1,964	(21.4)	808	(8.8)	18,449	11,260	(61.0)	2,650	(14.6)	3,812	(20.7)	687	(3.7)	29,882	22,325	(74.7)	7,557	(25.3)	
13 大動脈炎症候群	2,986	1,622	(54.3)	325	(10.9)	342	(11.5)	534	(17.9)	163	(5.5)	3,891	2,572	(66.1)	561	(14.4)	686	(17.6)	72	(1.9)	4,420	3,523	(79.7)	897	(20.3)	
14 ビュルガー病	4,734	2,176	(46.0)	387	(12.4)	589	(12.4)	1,102	(23.3)	280	(5.9)	7,813	4,631	(59.3)	1,359	(17.4)	1,676	(21.5)	147	(1.9)	9,526	7,005	(73.5)	2,521	(26.5)	
15 天疱瘡	845	332	(39.3)	117	(13.8)	119	(14.1)	238	(28.2)	39	(4.6)	1,363	712	(52.2)	265	(19.4)	363	(26.6)	23	(1.7)	1,903	1,323	(69.5)	580	(30.5)	
16 自體小脳変性症	3,766	972	(25.8)	497	(13.2)	705	(18.7)	1,427	(37.9)	165	(4.4)	7,617	2,854	(37.5)	1,791	(23.5)	2,834	(37.2)	138	(1.8)	10,702	6,143	(57.4)	4,559	(42.6)	
17 クローン病	2,178	1,166	(53.5)	226	(10.4)	221	(10.1)	413	(19.0)	152	(7.0)	4,932	3,240	(65.7)	642	(13.0)	885	(17.9)	165	(3.3)	8,928	6,929	(77.6)	1,999	(22.4)	
18 腸閉塞	405	12	(3.0)	3	(0.7)	40	(9.9)	348	(85.9)	2	(0.5)	676	55	(8.1)	38	(5.6)	581	(85.9)	2	(0.3)	681	125	(18.4)	556	(81.6)	
19 悪性腫瘍リウマチ	2,854	733	(25.7)	422	(14.8)	565	(19.8)	1,057	(37.0)	77	(2.7)	4,028	1,617	(40.1)	935	(23.2)	1,434	(35.6)	42	(1.0)	4,555	2,745	(60.3)	1,810	(39.7)	
20 ハーキンソン病	11,805	2,830	(24.0)	1,968	(16.7)	2,145	(18.2)	3,886	(32.9)	976	(8.3)	20,486	7,541	(36.8)	5,149	(25.1)	7,090	(34.6)	706	(3.4)	27,221	15,769	(57.9)	11,452	(42.1)	
21 アミロイドーシス	249	27	(10.8)	16	(6.4)	35	(14.1)	166	(66.7)	5	(2.0)	396	78	(19.7)	92	(23.2)	224	(56.6)	2	(0.5)	533	193	(36.2)	340	(63.8)	
22 後縦骨質化症	2,461	694	(28.2)	346	(14.1)	319	(13.0)	832	(36.2)	210	(8.5)	5,617	2,493	(44.4)	1,198	(21.3)	1,789	(31.8)	137	(2.4)	9,690	5,946	(61.4)	3,744	(38.6)	
23 ハンチントン舞蹈病	210	29	(13.8)	28	(13.3)	53	(25.2)	93	(44.3)	7	(3.3)	293	71	(24.2)	87	(29.7)	130	(44.4)	5	(1.7)	365	178	(48.8)	187	(51.2)	
24 ウィリス動脈硬化症	1,341	665	(49.6)	147	(11.0)	160	(11.9)	275	(20.5)	94	(7.0)	2,776	1,791	(64.5)	410	(14.8)	506	(18.2)	69	(2.5)	4,239	3,319	(77.9)	940	(22.1)	
25 ウェグナー肉芽腫症	135	47	(34.8)	23	(17.0)	22	(16.3)	39	(28.9)	4	(3.0)	317	156	(49.2)	62	(19.6)	92	(29.0)	7	(2.2)	459	307	(66.9)	152	(33.1)	
26 特発性拡張型心筋症*	501	93	(18.6)	43	(8.6)	73	(14.6)	214	(42.7)	78	(15.6)	2,539	945	(37.2)	558	(22.0)	1,002	(39.5)	34	(1.3)	4,597	2,763	(60.1)	1,834	(39.9)	
27 シャイ・ドレーガー症候群											249	15	(6.0)	52	(20.9)	181	(72.7)	1	(0.4)	358	79	(22.1)	279	(77.9)		
28 表皮水疱症											193	114	(59.1)	38	(19.7)	37	(19.2)	4	(2.1)	267	203	(76.0)	64	(24.0)		
29 腸弛緩症											266	174	(65.4)	34	(12.8)	47	(17.7)	11	(4.1)	556	420	(75.5)	136	(24.5)		
30 広範囲性骨髄炎**											57	27	(47.4)	12	(21.1)	15	(26.3)	3	(5.3)	463	275	(59.4)	188	(40.6)		
31 原発性胆管性胆管炎											172,872	93,887	(54.3)	30,587	(17.7)	44,501	(25.7)	3,897	(2.3)	2,938	2,149	(73.1)	789	(26.9)		
32 重症急性膵炎											477	82	(17.2)	82	(17.2)	395	(82.8)			477	82	(17.2)	395	(82.8)		
33 特発性大腸管頸部狭窄											2,095	1,291	(61.6)	804	(38.4)					2,095	1,291	(61.6)	804	(38.4)		
34 混合性結合組織病***											419	353	(84.2)	66	(15.8)					419	353	(84.2)	66	(15.8)		
26 疾患合計	104,771	44,552	(42.5)	12,484	(11.9)	13,892	(13.3)	27,730	(26.5)	6,113	(5.8)	172,872	93,887	(54.3)	30,587	(17.7)	44,501	(25.7)	3,897	(2.3)	240,153	167,447	(69.7)	72,706	(30.3)	
合計	104,771	44,552	(42.5)	12,484	(11.9)	13,892	(13.3)	27,730	(26.5)	6,113	(5.8)	172,872	93,887	(54.3)	30,587	(17.7)	44,501	(25.7)	3,897	(2.3)	247,726	172,299	(69.6)	75,427	(30.4)	

*26 特発性拡張型心筋症は1985年1月1日に給付対象となった。
**30 広範囲性骨髄炎は1989年1月1日に給付対象となった。
***34 混合性結合組織病は1993年1月1日に給付対象となった。

表5. 84年度、88年度、92年度新規受給者の各調査年度までの継続状況、疾患別

疾患名	1984年度 新規 受給者数 (100%)		4年継続		8年継続		13年継続		1988年度 新規 受給者数 (100%)		4年継続		8年継続		1992年度 新規 受給者数 (100%)		5年継続		継続なし		
	84	84×92	8488	8488×84	848892	848892×84	84889297	84889297×84	84889297	8892	8892×88	889297	889297×88	889297	889297×92	9297	9297×82	9297	9297×82	9297	9297×82
1 ベーチェット病	2,561	1,419 (55.4)	231 (9.0)	278 (10.9)	495 (19.3)	138 (5.4)	84889297	84889297×84	1,288	735 (57.1)	206 (16.0)	314 (24.4)	33 (2.6)	1,189	821 (69.0)	368 (31.0)					
2 多発性硬化症	565	210 (37.2)	60 (10.6)	82 (14.5)	176 (31.2)	37 (6.5)	84889297	84889297×84	574	292 (50.9)	97 (16.9)	166 (28.9)	19 (3.3)	616	405 (65.7)	211 (34.3)					
3 重症筋無力症	1,266	595 (47.0)	130 (10.3)	149 (11.8)	327 (25.8)	65 (5.1)	84889297	84889297×84	917	484 (52.8)	159 (17.3)	254 (27.7)	20 (2.2)	970	646 (66.6)	324 (33.4)					
4 全身性エリテマトーデス	5,339	3,144 (58.9)	512 (9.6)	452 (8.5)	930 (17.4)	301 (5.6)	84889297	84889297×84	3,449	2,181 (63.2)	496 (14.4)	682 (19.8)	90 (2.6)	3,666	2,684 (73.2)	982 (26.8)					
5 スモン	292	138 (47.3)	33 (11.3)	31 (10.6)	66 (22.6)	24 (8.2)	84889297	84889297×84	97	40 (41.2)	18 (18.6)	34 (35.1)	5 (5.2)	65	35 (53.8)	30 (46.2)					
6 再生不良性貧血	1,419	390 (27.5)	162 (11.4)	222 (15.6)	589 (41.5)	56 (3.9)	84889297	84889297×84	1,130	379 (33.5)	208 (18.4)	526 (46.5)	17 (1.5)	1,176	609 (51.8)	567 (48.2)					
7 サルコイドーシス	1,349	548 (40.6)	146 (10.8)	178 (13.2)	426 (31.6)	51 (3.8)	84889297	84889297×84	1,236	609 (49.3)	230 (18.6)	371 (30.0)	26 (2.1)	1,674	1,088 (65.0)	586 (35.0)					
8 筋萎縮性側索硬化症	822	63 (7.7)	43 (5.2)	108 (13.1)	599 (72.9)	9 (1.1)	84889297	84889297×84	886	72 (8.1)	123 (13.9)	680 (76.7)	11 (1.2)	1,017	220 (21.6)	797 (78.4)					
9 重症症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	2,269	977 (43.1)	311 (13.7)	284 (12.5)	588 (25.9)	109 (4.8)	84889297	84889297×84	1,849	1,017 (53.6)	305 (16.1)	537 (28.3)	40 (2.1)	2,487	1,619 (65.1)	868 (34.9)					
10 特発性血小板減少性紫斑病	2,585	705 (27.3)	261 (10.1)	402 (15.6)	1,085 (42.0)	132 (5.1)	84889297	84889297×84	3,101	1,054 (34.0)	549 (17.7)	1,441 (46.5)	57 (1.8)	4,074	1,980 (48.6)	2,094 (51.4)					
11 結節性動脈硬化症	289	85 (29.4)	27 (9.3)	26 (9.0)	143 (49.5)	8 (2.8)	84889297	84889297×84	195	78 (40.0)	35 (17.9)	76 (39.0)	6 (3.1)	283	162 (57.2)	121 (42.8)					
12 頑固性大腸炎	3,685	1,757 (47.7)	332 (9.0)	422 (11.5)	830 (22.5)	344 (9.3)	84889297	84889297×84	3,763	1,999 (53.1)	607 (16.1)	1,007 (26.8)	150 (4.0)	5,361	3,537 (66.0)	1,824 (34.0)					
13 大動脈炎	767	400 (52.2)	67 (8.7)	91 (11.9)	159 (20.7)	50 (6.5)	84889297	84889297×84	3,390	237 (60.8)	56 (14.4)	93 (23.8)	4 (1.0)	343	239 (75.5)	84 (24.5)					
14 ビュルガー病	2,068	1,003 (48.5)	219 (10.6)	225 (10.9)	479 (23.2)	142 (6.9)	84889297	84889297×84	1,283	645 (50.3)	216 (16.8)	396 (30.9)	26 (2.0)	912	578 (63.4)	334 (36.6)					
15 天疱瘡	289	111 (38.4)	37 (12.8)	34 (11.8)	91 (31.5)	16 (5.5)	84889297	84889297×84	1,250	111 (44.4)	48 (19.2)	86 (34.4)	5 (2.0)	292	193 (66.1)	99 (33.9)					
16 合胞体ウイルス感染症	1,517	365 (24.1)	184 (12.1)	308 (20.3)	574 (37.8)	86 (5.7)	84889297	84889297×84	1,714	543 (31.7)	418 (24.4)	720 (42.0)	33 (1.9)	2,060	1,108 (53.8)	952 (46.2)					
17 クローン病	1,079	577 (53.5)	108 (10.0)	111 (10.3)	194 (18.0)	89 (8.2)	84889297	84889297×84	1,102	651 (59.1)	149 (13.5)	253 (23.0)	49 (4.4)	1,649	1,151 (69.8)	498 (30.2)					
18 慢性肝炎	286	2 (0.7)	1 (0.3)	12 (4.2)	270 (94.4)	1 (0.3)	84889297	84889297×84	450	12 (2.7)	15 (3.3)	422 (93.8)	1 (0.2)	382	23 (6.0)	359 (94.0)					
19 悪性肉腫	742	190 (25.6)	92 (12.4)	130 (17.5)	308 (41.5)	22 (3.0)	84889297	84889297×84	657	228 (34.7)	141 (21.5)	281 (42.8)	7 (1.1)	655	336 (51.3)	319 (48.7)					
20 ハーキンソン病	3,983	1,007 (25.3)	649 (16.3)	683 (17.1)	1,269 (31.9)	375 (9.4)	84889297	84889297×84	4,340	1,465 (33.8)	1,028 (23.7)	1,679 (38.7)	168 (3.9)	5,037	2,801 (55.6)	2,236 (44.4)					
21 アミロイドーシス	135	8 (5.9)	9 (6.7)	22 (16.3)	94 (69.6)	2 (1.5)	84889297	84889297×84	145	16 (11.0)	33 (22.8)	96 (66.2)		138	36 (26.1)	102 (73.9)					
22 縦横帯状疱疹	1,284	329 (25.6)	167 (13.0)	146 (11.4)	522 (40.7)	120 (9.3)	84889297	84889297×84	1,563	590 (37.7)	314 (20.1)	625 (40.0)	34 (2.2)	2,046	1,112 (54.3)	934 (45.7)					
23 ハンチントン舞踏病	91	16 (17.6)	13 (14.3)	27 (29.7)	31 (34.1)	4 (4.4)	84889297	84889297×84	51	13 (25.5)	19 (37.3)	16 (31.4)	3 (5.9)	58	31 (53.4)	27 (46.6)					
24 ウィリス動脈硬化症	514	233 (45.3)	54 (10.5)	69 (13.4)	121 (23.5)	37 (7.2)	84889297	84889297×84	530	311 (58.7)	68 (12.8)	134 (25.3)	17 (3.2)	645	473 (73.3)	172 (26.7)					
25 ウェグナー肉芽腫症	100	33 (33.0)	17 (17.0)	15 (15.0)	32 (32.0)	3 (3.0)	84889297	84889297×84	73	35 (47.9)	10 (13.7)	28 (38.4)		90	44 (48.9)	46 (51.1)					
26 特発性拡張型心筋症*	442	89 (20.1)	42 (9.5)	70 (15.8)	192 (43.4)	49 (11.1)	84889297	84889297×84	779	252 (32.3)	171 (22.0)	344 (44.2)	12 (1.5)	1,067	590 (55.3)	477 (44.7)					
27 シャイ・ドレーガー病							84889297	84889297×84	102	4 (3.9)	19 (18.6)	78 (76.5)	1 (1.0)	123	28 (22.8)	95 (77.2)					
28 表皮水疱症							84889297	84889297×84	37	17 (45.9)	11 (29.7)	7 (18.9)	2 (5.4)	28	20 (71.4)	8 (28.6)					
29 慢性腎臓病							84889297	84889297×84	163	102 (62.6)	19 (11.7)	33 (20.2)	9 (5.5)	105	70 (66.7)	35 (33.3)					
30 広範性柱管状腎症**							84889297	84889297×84	57	27 (47.4)	12 (21.1)	15 (26.3)	3 (5.3)	146	85 (58.2)	61 (41.8)					
31 原発性胆汁性肝硬変							84889297	84889297×84	31,862	14,049 (44.1)	5,719 (17.9)	11,261 (35.3)	833 (2.6)	37,952	22,541 (59.4)	15,411 (40.6)					
32 重症急性膵炎							84889297	84889297×84	32,221	14,199 (44.1)	5,780 (17.9)	11,394 (35.4)	848 (2.6)	41,230	24,552 (59.5)	16,678 (40.5)					
33 特発性大動脈炎							84889297	84889297×84	298	43 (14.4)	255 (85.6)			298	43 (14.4)	255 (85.6)					
34 混合性結合組織病***							84889297	84889297×84	1,319	796 (60.3)	523 (39.7)			1,319	796 (60.3)	523 (39.7)					
26 疾患合計	35,738	14,394 (40.3)	3,907 (11.9)	4,577 (12.8)	10,599 (29.6)	2,270 (6.4)	84889297	84889297×84	35,738	14,049 (44.1)	5,719 (17.9)	11,261 (35.3)	833 (2.6)	41,230	24,552 (59.5)	16,678 (40.5)					

* 26 特発性拡張型心筋症は1985年1月1日に給付対象となった。
 ** 30 広範性柱管状腎症は1989年1月1日に給付対象となった。
 *** 34 混合性結合組織病は1993年1月1日に給付対象となった。

表6. 84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況、性・年齢階級別

性・年齢階級	1984年度 受給者数 (100%)		8年継続		4年継続		継続なし		中止後再開		1988年度 受給者数 (100%)		4年継続		継続なし		中止後再開		1992年度 受給者数 (100%)		5年継続		継続なし			
	84889297	848892	848892	848892	848892	848892	848892	848892	848892	848892	848892	889297	889297	889297	889297	889297	889297	889297	889297	9297	9297	9297	9297	9297	9297	
男 0-4	886	123 (13.9)	60 (6.8)	136 (15.3)	540 (60.9)	27 (3.0)	84889297	84889297	84889297	84889297	1,082	209 (19.3)	147 (13.6)	717 (66.3)	9 (0.8)	889297	889297	889297	889297	1,020	310 (30.4)	710 (69.6)	310 (30.4)	710 (69.6)	710 (69.6)	710 (69.6)
5-9	1,253	261 (20.8)	159 (12.7)	191 (15.2)	580 (46.3)	62 (4.9)	84889297	84889297	84889297	1,483	515 (34.7)	295 (19.9)	655 (44.2)	18 (1.2)	889297	889297	889297	889297	889297	1,538	787 (51.2)	751 (48.8)	787 (51.2)	751 (48.8)	751 (48.8)	751 (48.8)
10-14	1,329	344 (25.9)	180 (13.5)	279 (21.0)	469 (35.3)	57 (4.3)	84889297	84889297	84889297	1,658	693 (41.8)	420 (25.3)	522 (31.5)	23 (1.4)	889297	889297	889297	889297	889297	1,820	1,132 (62.2)	688 (37.8)	1,132 (62.2)	688 (37.8)	688 (37.8)	688 (37.8)
15-19	1,575	484 (30.7)	141 (9.0)	279 (17.7)	545 (34.6)	126 (8.0)	84889297	84889297	84889297	2,446	1,086 (44.4)	471 (19.3)	802 (32.8)	87 (3.6)	889297	889297	889297	889297	889297	3,223	1,980 (61.4)	1,243 (38.6)	1,980 (61.4)	1,243 (38.6)	1,243 (38.6)	1,243 (38.6)
20-24	1,713	617 (36.0)	160 (9.3)	225 (13.1)	567 (33.1)	144 (8.4)	84889297	84889297	84889297	3,206	1,610 (50.2)	486 (15.2)	985 (30.7)	125 (3.9)	889297	889297	889297	889297	889297	4,799	3,069 (64.0)	1,730 (36.0)	3,069 (64.0)	1,730 (36.0)	1,730 (36.0)	1,730 (36.0)
25-29	1,644	725 (44.1)	181 (11.0)	215 (13.0)	413 (25.1)	110 (6.7)	84889297	84889297	84889297	3,455	1,854 (53.7)	533 (15.4)	950 (27.5)	118 (3.4)	889297	889297	889297	889297	889297	5,413	3,686 (68.1)	1,727 (31.9)	3,686 (68.1)	1,727 (31.9)	1,727 (31.9)	1,727 (31.9)
30-34	2,073	994 (47.9)	223 (10.8)	230 (11.0)	478 (23.1)	148 (7.1)	84889297	84889297	84889297	3,569	2,031 (56.9)	593 (16.6)	849 (23.8)	96 (2.7)	889297	889297	889297	889297	889297	5,450	3,882 (71.2)	1,568 (28.8)	3,882 (71.2)	1,568 (28.8)	1,568 (28.8)	1,568 (28.8)
35-39	2,414	1,203 (49.8)	232 (9.6)	274 (11.4)	549 (22.7)	156 (6.5)	84889297	84889297	84889297	4,721	2,830 (59.9)	699 (14.8)	1,068 (22.6)	124 (2.6)	889297	889297	889297	889297	889297	5,711	4,138 (72.5)	1,573 (27.5)	4,138 (72.5)	1,573 (27.5)	1,573 (27.5)	1,573 (27.5)
40-44	2,552	1,219 (47.8)	255 (10.0)	296 (11.6)	634 (24.8)	148 (5.8)	84889297	84889297	84889297	4,881	2,980 (61.1)	713 (14.6)	1,082 (22.2)	106 (2.2)	889297	889297	889297	889297	889297	7,872	5,725 (72.7)	2,147 (27.3)	5,725 (72.7)	2,147 (27.3)	2,147 (27.3)	2,147 (27.3)
45-49	2,803	1,369 (48.8)	322 (11.5)	297 (10.6)	661 (23.6)	154 (5.5)	84889297	84889297	84889297	5,167	3,121 (60.4)	794 (15.4)	1,164 (22.5)	88 (1.7)	889297	889297	889297	889297	889297	7,517	5,532 (73.6)	1,985 (26.4)	5,532 (73.6)	1,985 (26.4)	1,985 (26.4)	1,985 (26.4)
50-54	3,531	1,551 (43.9)	492 (13.9)	444 (12.6)	865 (24.5)	179 (5.1)	84889297	84889297	84889297	6,136	3,516 (57.3)	1,064 (17.3)	1,452 (23.7)	104 (1.7)	889297	889297	889297	889297	889297	8,319	6,040 (72.6)	2,279 (27.4)	6,040 (72.6)	2,279 (27.4)	2,279 (27.4)	2,279 (27.4)
55-59	3,823	1,322 (34.6)	562 (14.7)	605 (15.8)	1,110 (29.0)	224 (5.9)	84889297	84889297	84889297	7,432	3,879 (52.2)	1,517 (20.4)	1,930 (26.0)	106 (1.4)	889297	889297	889297	889297	889297	10,258	7,155 (69.8)	3,103 (30.2)	7,155 (69.8)	3,103 (30.2)	3,103 (30.2)	3,103 (30.2)
60-64	3,767	822 (21.8)	626 (16.6)	812 (21.6)	1,322 (35.1)	185 (4.9)	84889297	84889297	84889297	7,708	3,151 (40.9)	1,833 (23.8)	2,511 (32.6)	295 (2.7)	889297	889297	889297	889297	889297	11,711	7,669 (65.5)	4,042 (34.5)	7,669 (65.5)	4,042 (34.5)	4,042 (34.5)	4,042 (34.5)
65-69	3,056	347 (11.4)	356 (11.6)	627 (20.5)	1,555 (50.9)	171 (5.6)	84889297	84889297	84889297	5,771	1,577 (27.3)	1,381 (23.9)	2,657 (46.0)	156 (2.7)	889297	889297	889297	889297	889297	10,251	5,585 (54.0)	4,666 (46.0)	5,585 (54.0)	4,666 (46.0)	4,666 (46.0)	4,666 (46.0)
70-74	770	53 (6.9)	101 (13.1)	145 (18.8)	436 (56.6)	35 (4.5)	84889297	84889297	84889297	2,768	309 (11.4)	723 (26.1)	1,475 (53.3)	61 (2.2)	889297	889297	889297	889297	889297	5,026	2,269 (45.1)	2,757 (54.9)	2,269 (45.1)	2,757 (54.9)	2,757 (54.9)	2,757 (54.9)
75-79	184	7 (3.8)	18 (9.8)	30 (16.3)	122 (66.3)	7 (3.8)	84889297	84889297	84889297	1,093	114 (10.4)	254 (23.2)	709 (64.9)	16 (1.5)	889297	889297	889297	889297	889297	2,312	802 (34.7)	1,510 (65.3)	802 (34.7)	1,510 (65.3)	1,510 (65.3)	1,510 (65.3)
80-84	53	1 (1.9)	6 (11.3)	10 (18.9)	36 (67.9)	1 (1.0)	84889297	84889297	84889297	315	16 (5.1)	61 (19.4)	236 (74.9)	2 (0.6)	889297	889297	889297	889297	889297	808	202 (25.0)	606 (75.0)	202 (25.0)	606 (75.0)	606 (75.0)	606 (75.0)
85-	10	3 (30.0)	3 (30.0)	6 (60.0)	6 (60.0)	1 (10.0)	84889297	84889297	84889297	91	5 (5.5)	18 (19.8)	68 (74.7)	1 (1.1)	889297	889297	889297	889297	889297	200	33 (16.5)	167 (83.5)	33 (16.5)	167 (83.5)	167 (83.5)	167 (83.5)
全年齢	33,436	11,442 (34.2)	4,077 (12.2)	5,095 (15.2)	10,888 (32.6)	1,934 (5.8)	84889297	84889297	84889297	62,974	29,696 (47.2)	12,002 (19.1)	19,832 (31.5)	1,444 (2.3)	889297	889297	889297	889297	889297	93,248	59,946 (64.3)	33,302 (35.7)	59,946 (64.3)	33,302 (35.7)	33,302 (35.7)	33,302 (35.7)
女 0-4	766	137 (17.9)	57 (7.4)	98 (12.8)	449 (58.6)	25 (3.3)	84889297	84889297	84889297	848	237 (27.9)	153 (18.0)	451 (53.2)	7 (0.8)	889297	889297	889297	889297	889297	837	314 (37.5)	523 (62.5)	314 (37.5)	523 (62.5)	523 (62.5)	523 (62.5)
5-9	1,311	345 (26.3)	168 (12.8)	210 (16.0)	520 (39.7)	68 (5.2)	84889297	84889297	84889297	1,560	653 (41.9)	280 (17.9)	608 (39.0)	19 (1.2)	889297	889297	889297	889297	889297	1,669	900 (53.9)	769 (46.1)	900 (53.9)	769 (46.1)	769 (46.1)	769 (46.1)
10-14	1,722	693 (40.2)	212 (12.3)	258 (15.0)	445 (25.8)	114 (6.6)	84889297	84889297	84889297	2,197	1,113 (50.7)	482 (21.9)	559 (25.4)	43 (2.0)	889297	889297	889297	889297	889297	2,301	1,596 (69.4)	705 (30.6)	1,596 (69.4)	705 (30.6)	705 (30.6)	705 (30.6)
15-19	2,446	1,131 (46.2)	218 (8.9)	270 (11.0)	610 (24.9)	217 (8.9)	84889297	84889297	84889297	3,586	2,070 (57.7)	607 (16.9)	792 (22.1)	117 (3.3)	889297	889297	889297	889297	889297	4,407	3,148 (71.4)	1,259 (28.6)	3,148 (71.4)	1,259 (28.6)	1,259 (28.6)	1,259 (28.6)
20-24	2,927	1,430 (48.9)	265 (9.1)	329 (11.2)	637 (21.8)	266 (9.1)	84889297	84889297	84889297	4,714	2,834 (60.1)	697 (14.8)	1,009 (21.4)	174 (3.7)	889297	889297	889297	889297	889297	6,532	4,781 (73.2)	1,751 (26.8)	4,781 (73.2)	1,751 (26.8)	1,751 (26.8)	1,751 (26.8)
25-29	4,145	2,181 (52.6)	376 (9.1)	436 (10.5)	889 (21.4)	263 (6.3)	84889297	84889297	84889297	6,009	3,774 (62.8)	806 (13.4)	1,257 (20.9)	172 (2.9)	889297	889297	889297	889297	889297	8,018	5,933 (74.0)	2,085 (26.0)	5,933 (74.0)	2,085 (26.0)	2,085 (26.0)	2,085 (26.0)
30-34	6,231	3,541 (56.8)	544 (8.7)	575 (9.2)	1,153 (18.5)	418 (6.7)	84889297	84889297	84889297	7,327	4,805 (65.6)	1,017 (13.9)	1,334 (18.2)	171 (2.3)	889297	889297	889297	889297	889297	9,194	7,011 (76.3)	2,183 (23.7)	7,011 (76.3)	2,183 (23.7)	2,183 (23.7)	2,183 (23.7)
35-39	7,495	4,477 (59.7)	680 (9.1)	657 (8.8)	1,236 (16.5)	445 (5.9)	84889297	84889297	84889297	10,423	7,266 (69.7)	1,304 (12.5)	1,633 (15.7)	229 (2.1)	889297	889297	889297	889297	889297	10,492	8,285 (79.0)	2,207 (21.0)	8,285 (79.0)	2,207 (21.0)	2,207 (21.0)	2,207 (21.0)
40-44	7,426	4,368 (58.8)	795 (10.7)	654 (8.8)	1,213 (16.3)	396 (5.3)	84889297	84889297	84889297	10,841	7,717 (71.2)	1,382 (12.7)	1,554 (14.3)	188 (1.7)	889297	889297	889297	889297	889297	15,634	12,728 (81.4)	2,906 (18.6)	12,728 (81.4)	2,906 (18.6)	2,906 (18.6)	2,906 (18.6)
45-49	7,238	4,135 (57.1)	819 (11.3)	672 (9.3)	1,269 (17.5)	343 (4.7)	84889297	84889297	84889297	11,161	7,725 (69.2)	1,583 (14.2)	1,691 (15.2)	162 (1.5)	889297	889297	889297	889297	889297	15,026	12,151 (80.9)	2,875 (19.1)	12,151 (80.9)	2,875 (19.1)	2,875 (19.1)	2,875 (19.1)
50-54	7,749	4,020 (51.9)	962 (12.4)	852 (11.0)	1,583 (20.4)	332 (4.3)	84889297	84889297	84889297	11,732	7,832 (66.6)	1,810 (15.4)	1,923 (16.4)	187 (1.6)	889297	889297	889297	889297	889297	16,132	12,826 (79.5)	3,306 (20.5)	12,826 (79.5)	3,306 (20.5)	3,306 (20.5)	3,306 (20.5)
55-59	7,821	3,346 (42.8)	1,167 (14.9)	1,154 (14.8)	1,716 (21.9)	438 (5.6)	84889297	84889297	84889297	11,982	7,453 (62.2)	2,056 (17.2)	2,326 (19.4)	147 (1.2)	889297	889297	889297	889297	889297	17,354	13,425 (77.4)	3,929 (22.6)	13,425 (77.4)	3,929 (22.6)	3,929 (22.6)	3,929 (22.6)
60-64	7,532	2,293 (30.4)	1,293 (17.2)	1,435 (19.1)	2,104 (27.9)	406 (5.4)	84889297	84889297	84889297	12,011	5,904 (49.2)	2,638 (22.0)	3,104 (25.8)	365 (3.0												

表7. 84年度、88年度、92年度受給者の各調査年度までの継続状況、医療保険の種類別

医療保険の種類	1984年度			88年度			92年度			1997年度				
	受給者数 (100%)	4年継続	中止後再開	受給者数 (100%)	4年継続	中止後再開	受給者数 (100%)	4年継続	中止後再開	受給者数 (100%)	4年継続	中止後再開		
健保本人	14,319	7,083 (49.5)	1,565 (10.9)	1,633 (11.4)	3,141 (21.9)	897 (6.3)	35,324	21,179 (60.0)	5,510 (15.6)	7,790 (22.1)	845 (2.4)	52,905	38,996 (73.7)	13,909 (26.3)
健保家族	37,291	17,230 (46.2)	4,219 (11.3)	4,616 (12.4)	9,092 (24.4)	2,134 (5.7)	51,251	30,427 (59.4)	8,299 (16.2)	11,448 (22.3)	1,077 (2.1)	62,247	45,479 (73.1)	16,768 (26.9)
国保	46,683	18,580 (39.8)	5,742 (12.3)	6,540 (14.0)	13,099 (28.1)	2,722 (5.8)	59,187	31,913 (53.9)	10,868 (18.4)	15,091 (25.5)	1,315 (2.2)	75,536	52,440 (69.4)	23,096 (30.6)
退職者	2,238	706 (31.5)	391 (17.5)	413 (18.5)	509 (22.7)	119 (5.3)	10,996	5,580 (50.7)	2,245 (20.4)	2,918 (26.5)	253 (2.3)	12,314	8,358 (67.9)	3,956 (32.1)
老人保健	2,802	388 (13.8)	387 (13.8)	519 (18.5)	1,344 (48.0)	164 (5.9)	12,335	2,891 (23.4)	3,015 (24.4)	6,097 (49.4)	332 (2.7)	19,383	9,329 (48.1)	10,054 (51.9)
不明	1,438	565 (39.3)	180 (12.5)	171 (11.9)	445 (30.9)	77 (5.4)	4,544	2,227 (49.0)	786 (17.3)	1,437 (31.6)	94 (2.1)	25,341	17,697 (69.8)	7,644 (30.2)
合計	104,771	44,552 (42.5)	12,484 (11.9)	13,892 (13.3)	27,730 (26.5)	6,113 (5.8)	173,637	94,217 (54.3)	30,723 (17.7)	44,781 (25.8)	3,916 (2.3)	247,726	172,299 (69.6)	75,427 (30.4)